【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年10月21日(2022.10.21)

【国際公開番号】WO2020/096427
【公表番号】特表2022-506423(P2022-506423A)
【公表日】令和4年1月17日(2022.1.17)
【年通号数】公開公報(特許)2022-007
【出願番号】特願2021-523789(P2021-523789)
【国際特許分類】
H04N 19/52(2014.01)
【FI】
H04N 19/52

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月12日(2022.10.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビデオ復号方法であって、
現在ブロックの隣接ブロックから現在ブロックのマージ候補を導出するステップと、
導出されたマージ候補をマージ候補リストに追加するステップと、
前記マージ候補リストに追加されたマージ候補の数が第１の閾値未満である場合、予測領域動き情報リストに含まれる少なくとも１つの予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加するステップと、
前記マージ候補リストに基づいて、前記現在ブロックの動き情報を導出するステップと、
導出された動き情報に基づいて、前記現在ブロックに対して動き補償を行うステップと、を含み、
前記予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加するかどうかは、前記予測領域マージ候補の動き情報と前記マージ候補リストに含まれるマージ候補の動き情報との比較結果に基づいて決定される、ビデオ復号方法。
【請求項２】
前記マージ候補リストにおけるインデックスが第２の閾値以下である少なくとも１つのマージ候補に対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項３】
特定の位置のブロックから導出されたマージ候補に対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項４】
前記現在ブロックの左側に位置する左側隣接ブロックから導出されたマージ候補、又は前記現在ブロックの上方に位置する上隣接ブロックから導出されたマージ候補のうちの少なくとも１つに対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項５】

前記マージ候補リストに、第１予測領域マージ候補の動き情報と同じである動き情報を有するマージ候補が存在すると決定した場合、前記第１予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加せず、前記予測領域動き情報リストに含まれる第２予測領域マージ候補の動き情報と前記マージ候補リストに含まれるマージ候補の動き情報との比較結果に基づいて、前記第２予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加するかどうかを決定することを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項６】
前記第２予測領域マージ候補の動き情報が、前記第１予測領域マージ候補の動き情報と同じである動き情報を有するマージ候補の動き情報と同じであるかどうかの判定を省略することを特徴とする
請求項５に記載のビデオ復号方法。
【請求項７】
前記予測領域マージ候補に含まれる予測領域マージ候補の数と前記予測領域マージ候補のインデックスとの差分値は、第３の閾値以下であることを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項８】
前記現在ブロックの動き情報から導出された現在予測領域マージ候補を前記予測領域動き情報リストに追加するステップをさらに含み、ここで、
前記現在予測領域マージ候補と同じである予測領域マージ候補が存在する場合、前記現在予測領域マージ候補と同じである予測領域マージ候補を削除し、最大インデックスを前記現在予測領域マージ候補に割り当てることを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項９】
第４の閾値より大きいインデックスを有する予測領域マージ候補に対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項１０】
前記隣接ブロックが所定の領域に含まれていないと判断された場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を予測領域動き情報リストに追加すること、または、
前記隣接ブロックが所定の領域に含まれると判断された場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を予測領域動き情報リストに追加しないことをさらに含み、
前記所定の領域はマージ処理領域であることを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。
【請求項１１】
前記マージ候補リストに追加された前記マージ候補の数が第１の閾値未満である場合、前記予測領域動き情報リストに含まれる隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記マージ候補リストに追加することをさらに含むことを特徴とする
請求項１０に記載のビデオ復号方法。
【請求項１２】
前記隣接ブロックのサイズが所定のサイズ以上である場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記予測領域動き情報リストに追加すること、または、
前記隣接ブロックのサイズが所定のサイズ未満である場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記予測領域動き情報リストに追加しないことをさらに含むことを特徴とする
請求項１に記載のビデオ復号方法。

【請求項１３】
前記マージ候補リストに追加された前記マージ候補の数が第１の閾値未満である場合、前記予測領域動き情報リストに含まれる隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記マージ候補リストに追加することをさらに含むことを特徴とする
請求項１２に記載のビデオ復号方法。
【請求項１４】
ビデオ符号化方法であって、
現在ブロックの隣接ブロックから現在ブロックのマージ候補を導出するステップと、
導出されたマージ候補をマージ候補リストに追加するステップと、
前記マージ候補リストに追加されたマージ候補の数が第１の閾値未満である場合、予測領域動き情報リストに含まれる少なくとも１つの予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加するステップと、
前記マージ候補リストに基づいて、前記現在ブロックの動き情報を導出するステップと、
導出された動き情報に基づいて、前記現在ブロックに対して動き補償を行うステップと、を含み、
前記予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加するかどうかは、前記予測領域マージ候補の動き情報と前記マージ候補リストに含まれるマージ候補の動き情報との比較結果に基づいて決定される、ビデオ符号化方法。
【請求項１５】
前記マージ候補リストにおけるインデックスが第２の閾値以下である少なくとも１つのマージ候補に対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項１６】
特定の位置のブロックから導出されたマージ候補に対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項１７】
前記現在ブロックの左側に位置する左側隣接ブロックから導出されたマージ候補、又は前記現在ブロックの上方に位置する上隣接ブロックから導出されたマージ候補のうちの少なくとも１つに対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項１８】
前記マージ候補リストに、第１予測領域マージ候補の動き情報と同じである動き情報を有するマージ候補が存在すると決定した場合、前記第１予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加せず、前記予測領域動き情報リストに含まれる第２予測領域マージ候補の動き情報と前記マージ候補リストに含まれるマージ候補の動き情報との比較結果に基づいて、前記第２予測領域マージ候補を前記マージ候補リストに追加するかどうかを決定することを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項１９】
前記第２予測領域マージ候補の動き情報が、前記第１予測領域マージ候補の動き情報と同じである動き情報を有するマージ候補の動き情報と同じであるかどうかの判定を省略することを特徴とする
請求項１８に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２０】
前記予測領域マージ候補に含まれる予測領域マージ候補の数と前記予測領域マージ候補のインデックスとの差分値は、第３の閾値以下であることを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。

【請求項２１】
前記現在ブロックの動き情報から導出された現在予測領域マージ候補を前記予測領域動き情報リストに追加するステップをさらに含み、ここで、
前記現在予測領域マージ候補と同じである予測領域マージ候補が存在する場合、前記現在予測領域マージ候補と同じである予測領域マージ候補を削除し、最大インデックスを前記現在予測領域マージ候補に割り当てることを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２２】
第４の閾値より大きいインデックスを有する予測領域マージ候補に対して、前記比較を実行することを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２３】
前記隣接ブロックが所定の領域に含まれていないと判断された場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を予測領域動き情報リストに追加すること、または、
前記隣接ブロックが所定の領域に含まれると判断された場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を予測領域動き情報リストに追加しないことをさらに含み、
前記所定の領域はマージ処理領域であることを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２４】
前記マージ候補リストに追加された前記マージ候補の数が第１の閾値未満である場合、前記予測領域動き情報リストに含まれる隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記マージ候補リストに追加することをさらに含むことを特徴とする
請求項２３に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２５】
前記隣接ブロックのサイズが所定のサイズ以上である場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記予測領域動き情報リストに追加すること、または、
前記隣接ブロックのサイズが所定のサイズ未満である場合、前記隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記予測領域動き情報リストに追加しないことをさらに含むことを特徴とする
請求項１４に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２６】
前記マージ候補リストに追加された前記マージ候補の数が第１の閾値未満である場合、前記予測領域動き情報リストに含まれる隣接ブロックの動き情報に基づいて導出された予測領域マージ候補を、前記マージ候補リストに追加することをさらに含むことを特徴とする
請求項２５に記載のビデオ符号化方法。
【請求項２７】
ビデオ復号機器であって、請求項１から１３のいずれか一項に記載のビデオ復号方法を実行するためのインター予測部を備える、ビデオ復号機器。
【請求項２８】
ビデオ符号化機器であって、請求項１４から２６のいずれか一項に記載のビデオ符号化方法を実行するためのインター予測部を備える、ビデオ符号化機器。